

AHR テキスト第5版 校正箇所

今回の校正はより分かりやすい表現を目的とします。
基本姿勢に関連する文章・イラストの追加・変更はPDFをご用意しました。
ご参照のうえご指導にお役立てください。

ページ	訂正前	訂正後	
理-2/5.6 行目	アドバイスができるバックボーンを	変更	アドバイスができるよう
理-3/3 行目 7 行目 28 行目	ボケ(老人性認知症)	変更	認知症
	ダウン症	削除	(理由) 遺伝子の損傷によりダウン症につながることもありうるが、一般的な公害病からはイメージしにくいいため。
	過度なストレスは～中略～とも言われる。	改行	
理-8/下から 4 行目	基本セオリーとしては	変更	理論としては
理-12/(4) 表内フリクション下段	不動性拘縮、浸出物・病的産物の吸収、ROM 拡大	削除	(理由) AHR におけるフリクションの矯正作用としては、「癒着剥離、引き伸ばし、変形矯正」の表現で充分と考えたため。
理-13.14 PDF あり	(2) 基本姿勢のとり方 ①立ち位置、②スタンス幅、③立ち方向	変更	順番変更 ①立ち位置、②立ち方向、③スタンス幅
理-15/中段 PDF あり	①スタート時: 両足裏全体に均等に体重を乗せます。後脚の膝が屈曲し、前脚はほぼ伸びています。	変更	①スタート時: 後脚の膝が屈曲し、後脚に体重の多くが乗っています。前脚はほぼ伸びています。
理-15/一番下段	その分セラピストの身体も下から上への動きがあります。	変更	その分セラピストの身体もその高低差に合わせた移動になります。
理-16 PDF あり	前頁の変更による文頭のズレがあるため PDF あり		
理-17 PDF あり	各名称	追加	名称にルビ
理-19/一番下段	ソックス	変更	靴下
実技編中表紙裏面	(1) 例: 背中⑦フリクション 1<脊柱起立筋の直線フリクション> (2) 例: 背中⑦フリクション 1<脊柱起立筋の直線フリクション>	改行	(1) 例: 背中⑦フリクション 1<脊柱起立筋の直線フリクション> (2) 例: 背中⑦フリクション 1<脊柱起立筋の直線フリクション>
	(4) 各技術のページの先頭に、ビデオでの解説文を載せました。	変更	(4) 各技術のページの先頭に、DVD での解説文を載せました。
実-2/7 行目	⑦お客様のスリッパ	変更	⑦お客様の履物
実-3/グレイゾーン	日本アロマコーディネーター協会では、～中略～お届けします。	削除	
実-5/下段	CHECK! □露出は十分か	校正	文頭をそろえる
実-21/2 行目	体	変更	身体
実-22 /グレイゾーン下 PDF あり	セラピストの外側の手を足背に、内側の手を足底に当て、足をホールディングします。	変更	セラピストの両手のひらで、お客様の指先まで包み込むように、ホールディングします。
	●立ち位置 ベッドの角で、～中略～立ちます。	削除	「ベッドの角で、」を削除
	イラスト・文章追加	追加	別紙 PDF 参照
実-23	●立ち位置 ベッドの角から、～中略～立ちます。	削除	「ベッドの角から、」を削除
実-23/一番下段	●踵からお尻よりでは	変更	●踵からお尻までは
実-25 PDF あり	文章追加	追加	●立ち位置 ベッドの長辺側に立ちます。 ●立ち方 お客様の指先の方を向いて立ちます。
	(A) ベッドサイドに、～中略～立ちます。	削除	「ベッドサイドに、～中略～立ちます。」を削除
実-26/MEMO	人事不省	削除	(理由) こん睡状態に陥り、意識を失うことをさしますが、耳慣れない言葉のため、AHR における表現としては不要と考えたため。
実-27/7 行目 PDF あり	母指と示指で V 字の形を作り、広めの面積をフリクションするのが特徴です。	変更	●立ち位置 外側の足を大きくベッドサイドに踏み出して立ちます。

	膝の裏は力を加えないように注意します。殿溝まで行ったら手を扇形に開いて両側を通って戻ります。		●スタンス幅 アキレス腱から殿溝をカバーする位でエフルラージュより狭いスタンス幅を取ります。 ●ルート 母指と示指でV字の形を作り、広めの面積をフリクションするのが特徴です。膝の裏は力を加えないように注意します。殿溝まで行ったら手を扇形に開いて両側を通って戻ります。
実-28 PDF あり	●立ち位置 ベッドの角に立ちます。	変更	●立ち位置 後足をベッド長辺の延長線の外側、かつベッドの短辺の延長線よりも外側に置きます。
実-29 PDF あり	●立ち位置 ベッドの角に立ちます。	変更	●立ち位置 後足をベッド長辺の延長線の外側、かつベッドの短辺の延長線よりも外側に置きます。
	⑥フリクションⅡ <アキレス腱両側のフリクション>参照	改行	⑥フリクションⅡ <アキレス腱両側のフリクション>参照
実-32 ／下から4行目	セラピストの外側の手を足背に、内側の手を足底に当て、足をホールディングします。	変更	セラピストの両手のひらで、お客様の指先まで包み込むように、ホールディングします。
実-35 PDF あり	●立ち位置 ベッドの角で、～中略～立ちます。	削除	「ベッドの角で、」を削除
	イラスト・文章追加	追加	別紙 PDF 参照
実-36 PDF あり	文章追加	追加	●立ち位置 外側の足を大きくベッドサイドに踏み出して立ちます。 ●スタンス幅 指先から踵径部までのトリートメント範囲をカバーする位。
実-37 PDF あり	●立ち位置 ベッドの短辺に立ちます。	変更	●立ち位置 後足をベッド長辺の延長線の外側、かつベッド短辺の延長線よりも外側に置きます。
実-38 PDF あり	●立ち位置 ベッドの角に立ちます。	変更	●立ち位置 後足をベッド長辺の延長線の外側、かつベッド短辺の延長線よりも外側に置きます。
実-39 PDF あり	人物入りのイラスト変更	変更	別紙 PDF 参照
	●立ち位置 ベッドの角に立ちます。	変更	●立ち位置 後足をベッド長辺の延長線の外側、かつベッド短辺の延長線よりも外側に置きます。
実-41 PDF あり	●立ち位置 ベッドサイドに立ちます。	変更	●立ち位置 ベッドの長辺側に立ちます。
実-45／ POINT PDF あり	この部分が厄介なのは、お客様が完全に力を抜き、リラックスした状態で施術がしにくいということです。肘肩から力を抜き、緊張がでないようにして頂くように工夫することが重要です。	変更	お客様が完全に力を抜き、リラックスされている場合には、弛緩を妨げない工夫をしましょう。逆に目覚めた状態では肘や肩の力を抜いていただく工夫をし、緊張を和らげることが必要です。 お客様の状態をしっかり見極めて、安心してトリートメントを受けていただけるよう心がけましょう。
実-49／MEMO	(主治)	校正	(の位置がずれ、主に被っているのを修正。
	手・指が～中略～用いられる。	校正	3行上の「手掌で～中略～中間に取る。」に文頭そろえる
実-50／中段	(B)方手	校正	→(B)片手
実-66／POINT 右下	(孔最と併用)	削除	(理由)「孔最」をテキストで記していないため。

実-67/POINT	・ホールディングは～中略～します。	校正	「・」を削除
マナー&技術チェック編(表紙タイトル下)	AHR では、タッチングによる～中略～解説します。	削除	
マナー&技術チェック編全般	全ての「クライアント」の表現	変更	「お客様」に変更 (理由)理論編/実技編では「お客様」と記載しているため表記を統一しました。
マ-1/2 行目 10 行目	※ビデオと照らし合わせながら確認しましょう。 注釈/ビデオでは～中略～選びましょう。	変更 変更	※DVDと照らし合わせながら確認しましょう。 注釈/DVD では～中略～選びましょう。
マ-3/下から2 行目	→耳の後ろで切り返し	変更	→天柱穴で切り返し
補-1/(2)表	30%を切るとウィルスの活動が～中略～を浸し易い	校正	30%を切るとウィルスの活動が～中略～を浸し易い
補-7 /②タオルについて	※ビデオで使用している～中略～下さい。	変更	※DVD で使用している～中略～下さい。
補-7 /下から1～2 行目	ルートについての決まりはありませんが	削除	
補-8	参照:カモマイルクラブ商品のカタログ～から3 行	変更	<カモマイルクラブ> ショッピングサイトからご登録の上、ご利用ください。ご不明な点は、カモマイルクラブまでお問い合わせください。 WEB サイト http://www.chamomileclub-shop.com/ 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-25-9 今井ビル 10F TEL:0120-910-389(10:00～17:00)
	アロマコーディネーター	校正	アロマコーディネーター
奥付	発行所:今井ビル 6F	変更	発行所:今井ビル 5F